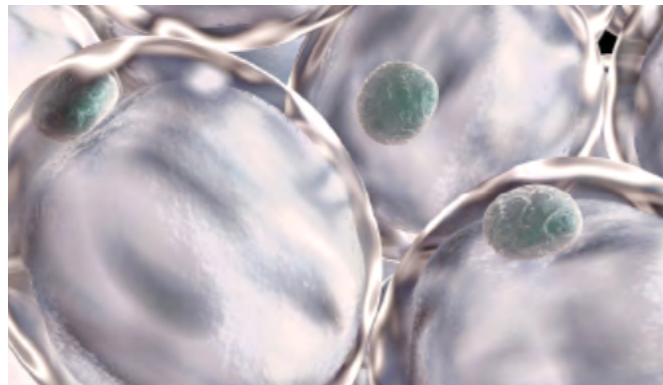




仔犬

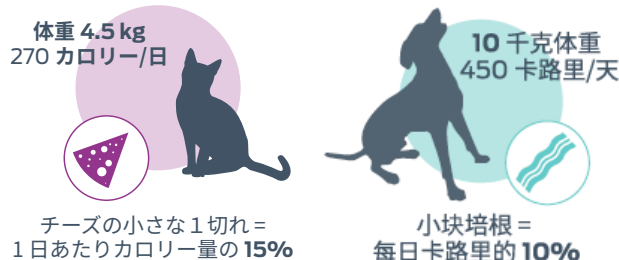
# 過体重の管理における食餌の役割

過体重または肥満のペットの減量には、目的に合わせた栄養アプローチが役立つ可能性があります。



## キーメッセージ

- 減量を達成するには、ペットの目標（理想）体重に基づくカロリー制限、つまりカロリーの消費量よりも摂取量を少なくすることが重要です。
- 市販の減量用フードの食餌はペットの減量に役立つだけでなく、完全でバランスのとれた栄養も提供します。
  - 市販の減量用フードは、カロリーが少なく、しかもペットに必要なすべての栄養素を適正量含みます。
- 確実に体重管理を成功させるには、フードの計量が有効です。最も正確なのはキッチン計量器（クッキングスケール）ですが、計量カップも有用です。
  - フードを計量することで、ペットが食べられるフードはこれだけだという意識が高まります。
  - ドライフードを与える場合は、おやつとして使用する分を通常の食餌とは別に取り分けておくといよいでしょう。
- 維持エネルギーの必要量はどのペットも同じというわけではないため、減量用フードへの反応も個々のペットで異なります。
  - 必要に応じて給餌量を調整できるように、ボディコンディションスコアと体重をチェックします。
- おやつを別に与える場合は、1日あたりのカロリー摂取量の10%以下に抑えるようにします。
  - おやつを考慮に入れて、主食であるフードの量を減らします。おやつは驚くほどカロリーが高い場合があります。
- 多頭飼いの場合、過体重のペットは他のペットと分けて給餌し、他のペットの給餌器に行けないようにすることが重要です。



## その他のリソース

Laflamme, D. P. (2006). Understanding and managing obesity in dogs and cats. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 36, 1283–1295.

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。